

広報

かまishi

【特集】はじめまして、釜石 ただいま、釜石

市民百景 — NEVERLAND VILLAGE 高橋 一美さん —



- ④ 甲子町の農家で稲刈り体験
- ② 最終報告会で2週間の気づきを発表
- ③ 鶴住居町の「みのすけ沼」で外来植物の除去
- ④ 箱崎町の農園で商品開発に使ういちごを収穫
- ⑤ 1週間の活動を終え仲良くなったインターン生



釜石で学び、人と出会う。
8月31日～9月13日に実施した地域体験型インターンシップ「かまチャレ2026夏」には、釜石出身者5名、市外出身者7名の計12名が参加しました。学生たちは、仕事や暮らしを体験しながら地域の魅力や可能性に触れ、活動を通じて得た気づきや思いをnoteにまとめ、それぞれの視点から釜石の魅力を伝えました。若者たちの出会いと学びが、未来の「ただいま」へとつながっていきます。今回は、その取り組み「かまチャレ2026夏」をお伝えします。

インターン生を受け入れて

釜石で自ら行動する面白さを伝えたく企画しました。都内と地元の若者が協力し、2日間でいちごの商品開発から提供まで成功させた姿には感動しました。新しい挑戦を受け入れる釜石ならではの体験で、学生からは「滅多にできない経験」という声もありました。これからも私が移住して得た学びを次世代へ還元し続けたいです。



釜石市右腕型地域おこし協力隊
松田 知也さん

インターン生が書いたnote記事は「TRY!!! Kamaishi事務局」に掲載されます



ただいま、釜石



中央大学 1年
大瀧 真央さん

インターンシップを通して心に残ったことは、2週間を共にした仲間たちとの出会いです。初対面の人たちとの共同生活に不安もありましたが、みんなの優しさに支えられ、楽しく過ごすことができました。グループワークや共同作業を通して交流を深めたり、夜遅くまでトラランプをしたり、花火やカラオケを楽しんだり、たくさんの思い出が

できました。仲間たちと過ごした時間は、これまでで最も濃く、忘れられない夏になりました。これまで私は、人口減少が進む釜石の未来について、悲観的に考えていました。しかし、今回のインターンシップで地域で活動する皆さんの話を聞き、釜石の人だけでなく、市外から来た人も、起業やさまざまな活動を通して地域を盛り上げようとしている姿に心を動かされました。その姿を見て、釜石出身でありながら何もしなかった自分に気づくと同時に、自分にも何かできることがあるのではないかと感じました。これから釜石に関心を持ち、積極的に関わっていききたいです。

はじめまして、釜石



横浜国立大学 4年
塚崎 真広さん

私は、福井県出身で今は横浜に住んでいます。どちらの地域でも、まちを自分ごととして話す場はあまりありませんでした。釜石では、この場所ですべての大人も、外から移り住んだ人も、学生たちも、自分たちがこのまちをどうしたいかを考え、語っている姿に驚きました。その中で最も印象に残ったのはゲストハウス「やまととき」のオーナーの大井「こめとき」のオーナーの大井

さんとの出会いです。大学の授業や多様な地域でのフィールドワークを通じて地方創生について考えてきましたが、これほど自由な発想を持ちながら現実的な計画に落とし込み、ご自身のアイデアと地域資源を組み合わせる釜石の未来を形作るうとされている姿には深く感銘を受けました。また、それは大井さん一人の力だけでなく、運営を支えるスタッフの皆さん、そして大井さんのような外部からの挑戦者を受け入れる自治体や釜石の寛容な地域文化があったからこそ実現しているのだと強く実感しました。このまちの人に会いに、また帰ってきたい。そう思う2週間でした。

かまチャレとは？

「かまチャレ」は、大学生が釜石での仕事や暮らしを体験するインターンシップ事業です。

今回は、大学生が、釜石での仕事や暮らしを体験することで地域の魅力に気づき、インターンシップ終了後も継続的に釜石と関わりを深めてもらうため実施しました。参加した学生たちは、市役所や市内企業での活動、地域住民との交流、まち歩きなどを通じて、釜石での暮らしや仕事を体感。実際に地域で過ごす中で、釜石ならではの魅力や地域が持つ可能性に触れ、それぞれが新たな気づきや学びを得ています。

令和8年度かまいし起業塾

全5回の講座を通じてビジネスプランの完成を目指す講座です。

- 日時** 11月15日(日)、11月22日(日)、11月29日(日)、12月6日(日)、12月13日(日)
10時～12時30分 ※全日程への参加を原則とします
- 講師** 一般社団法人じのもん流通プロジェクト 理事 川口 佐和子さん
- 場所** 釜石市役所4階 大会議室
- 対象** 釜石市周辺で起業を考えている人、または起業後3年以内の人
- 定員** 20人 **費用** 無料 **締切** 11月10日(火)
- 申込方法** 二次元コードからお申し込みください。 ※詳細は、市ホームページをご覧ください



申し込みフォーム



市ホームページ

問い合わせ 市商工観光課 商工業支援係 ☎ 52-0083

令和8年度防災士スキルアップセミナー

地域の防災活動を支える防災士の皆さんを対象に、最新の防災情報を学ぶとともに、防災士同士の交流や連携を深め、知識や技術の更なる向上を図ることを目的としたセミナーを開催します。

- 日時** 11月14日(土) 13時～ ※受付は12時45分～ **場所** 釜石市役所4階 大会議室
- 対象者** 市内在住または在勤の防災士資格所有者 **定員** 50人
- 内容** ・講演「大雨への備えと新しい防災気象情報の利活用について」
・トークセッション「県内防災士の動向について」 ・意見交換
- 申込方法** 申込書を11月6日(金)までに市防災危機管理課または各地区生活応援センターに提出してください。申込書は各地区生活応援センターに備え付ける他、市ホームページからダウンロードできます。



問い合わせ 市防災危機管理課 ☎ 52-0103

防災行政無線の放送内容はこれで確認!!

防災行政無線の放送内容が、家の中にいるなどして聞こえない場合は、次の方法で確認することができます。

電話で聞く

☎ 0800-800-3199
(通話料無料)

LINEで見る



釜石市LINE

いわてモバイルメールで見る



釜石市災害情報



釜石市からのお知らせ

戸別受信機で聞く

自動で防災行政無線を受信し、放送を家の中で聞くことができます。1世帯当たり1台を無償で貸し出しています。(募集：15世帯)

申込方法 各地区生活応援センターや市防災危機管理課に備え付けの貸与申請書に必要事項を記入し、市防災危機管理課へ提出してください。

申込期限 11月16日(月) ※申込内容を審査の上、貸与の可否を決定します
申し込みに当たっては、申請様式に付属する注意事項を必ずご確認ください。



問い合わせ 市防災危機管理課 ☎ 52-0103

ツキノワグマの被害に遭わないために

これからの季節、山や川でのアウトドア活動が盛んになります。クマの生息域に立ち入る機会が増え、思いがけずクマと遭遇する恐れがあるため、山に入る際は、複数人で行動し、音の出るものや忌避スプレーを携帯するようにしましょう。日頃から、クマの出没情報を確認し、出没した場所には絶対に近づかない他、ごみなどのクマを誘引するものを屋外に放置しないなど、クマを寄せ付けたい対策を徹底し、被害の未然防止に努めましょう。



市ホームページにもクマ対策の参考情報があります。

問い合わせ 市水産農林課 林業振興係 ☎ 52-0087

第56回 釜石市民芸術文化祭

入場無料

- 日時** 10月31日(土) 9時～18時 11月1日(日) 9時～15時
- 場所** 釜石市民ホール TETTO
- 内容** ●作品展示

【展示】 絵画・書道・切り絵・皴月・ステンドグラス・生け花・山野草・レース編み・写真・映像(ミニ映画館)・郵趣など

【特別企画展示】 岩手県内外での入賞作品など

●ステージ発表

10月31日 ●MiA & リアスバンド ●生成AIを楽しもう ●プリンセス釜石

11月1日 ●小柳バレエ教室 ●釜石芸能連合会 ●きつずふあむ ●mUsica pUisto

●体験コーナー ●琴城流大正琴白百合会

●特別企画 まちかどミニ美術館(博物館)

問い合わせ 釜石市芸術文化協会事務局 ☎ 090-1069-6053

令和8年度「商工祭」を開催します

～NO COPY～ ～一心同体で創る、誰にも真似できない商工フェス～

一般公開 10月24日(土) 12時～15時 10月25日(日) 10時～14時

公演内容

24日(土)	25日(日)	
14時～14時10分 ダンス披露(ピアノ演奏あり)	【午前の部】 10時40分～11時 商工虎舞	【午後の部】 12時30分～12時40分 ダンス披露
14時15分～14時20分 リズム☆なぎなた	11時5分～11時10分 リズム☆なぎなた	12時45分～13時5分 商工虎舞
14時25分～14時45分 商工虎舞	11時15分～11時45分 吹奏楽演奏会	13時10分～13時15分 リズム☆なぎなた
		13時20分～13時50分 吹奏楽演奏会

この他、学科展示・体験、部活動展示・発表もあります。ぜひ、ご来場ください!

※24日13時30分～2階総合実践室にて同窓会総会も開催します

問い合わせ 釜石商工高等学校 ☎ 22-3029

はしの四季まつり・第20回水車まつり

- 日時** 11月1日(日) 11時
- 場所** 橋野どんぐり広場、親水公園
- 内容** 餅まき、豚汁お振る舞い、(株)オヤマ「いわいどり」ももの唐揚げの特別販売、水車や農具の実演、各種出店(手打ちそば・きびの焼き団子・雑穀おにぎりの販売)他

会場まで無料バスを運行します

利用希望者は10月30日(金)までに(株)岩手旅行社(☎31-1300)へ申し込んでください。

時刻	主な通過バス停
9:50	ビレッジハウス洞泉前
9:55	松倉駅前
10:00	小佐野駅前
10:05	釜石警察署入口
10:10	釜石駅前
10:15	釜石中央
10:25	鶴住居
10:35	砂子畑
10:40	上栗林

※帰りは橋野どんぐり広場を13時に出発します

問い合わせ 橋野町振興協議会 ☎ 090-4639-3225



新市庁舎で一番長く働く最年少職員(左端)もテープカット

9月24日 【新市庁舎】

72年ぶりに新市庁舎が開庁 効率的な行政サービス提供へ業務開始

天神町に整備した新市庁舎が開庁し、業務を開始しました。業務開始を前に行われた開庁式では、市長が「未来に向かう新たな出発点。市民目線を大切にした丁寧で質の高い行政サービスを提供し、信頼される市政づくりに全力で取り組む。」と挨拶しました。これまで分散していた行政機能を集約し、市民の利便性向上と効率・効果的な行政サービス提供を進めます。



天然芝の上で「さーさよいやっさー」

9月27日 【鶴住居復興スタジアム】

釜石よいさ継承へ うのスタよいやっさフェスティバル

釜石よいさを踊る機会をなくさないよう、昨年までの釜石よいさの流れをくむ新しいイベント「うのスタよいやっさフェスティバル」が開催されました。初めてスタジアムの天然芝の上で実施され、参加団体の皆さんは、心地よく最後まで元気に踊りました。ゲストには釜石応援ふるさと大使の忠犬立ハチ高が登場し、来場者を楽しませました。踊りに参加することが熊本地震支援になる「リワードリボン」企画も行われ、27,200円が被災地に寄付されます。



サトル文字による鐵と魚とラグビーのまち かまいし

9月28日 【新市庁舎エントランスホール】

“サトル文字”で来庁者を出迎え ボーダレスなまちのシンボルに

(特非)釜石市身体障害者協議会から、自閉症の特性を生かした独創的な表現「サトル文字」で知られる当市出身アーティストの小林覚さんによる作品「鐵と魚とラグビーのまち かまいし」が新市庁舎に寄贈されました。誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインの考え方を取り入れて整備した新市庁舎が、障がいがあっても多様性が尊重される「ボーダレスなまち」の実現に向けたシンボルとして、来庁者を出迎えます。



中田義仁さん

10月1日

教育委員会教育委員に辞令交付

教育委員会教育委員に中田義仁さんが再任され、辞令交付が行われました。任期は10月1日から令和12年9月30日までです。現在の教育委員会の構成は以下のとおりです。

教育長 高橋勝さん
委員 佐野茂樹さん (教育長職務代理者)
委員 中田義仁さん
委員 齊藤敦子さん
委員 花輪妙子さん

9月5日 【釜石市民ホールTETTO】

ふれあいでつくる福祉のまち

「第33回釜石市ふれあい福祉まつり」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。市民が交流する楽しいふれあいの場を通じ、多様性への理解を広め、お互いに支え合うことを確認し、「誰もがともに楽しめるまちづくり」を推進することを目的に開催しています。福祉事業所による物販コーナーやボランティア団体によるステージ発表、日頃地域で活動されている皆さんの活動紹介・作品展示などが行われ、たくさんの笑顔や交流が生まれました。



点訳グループ「楽点舎」のコーナーで点字を体験

9月9日 【釜石消防庁舎】

現場に居合わせた3人が人命救助 消防本部から感謝状

現場に居合わせた人たちが連携し、適切な処置で傷病者の命を救いました。勇気ある行動が手繰り寄せた見事な救出劇に、消防協力者に感謝状が贈られました。感謝状が贈られたのは郵便局員の東谷剛さん、大船渡市の介護士佐藤結香さん、釜石市シルバー人材センター会員小岩昭さんの3人。いずれも職場などで心肺蘇生法の講習を受けており、救急隊が到着するまでの間、一連の処置を交代で行いました。3人の行動は傷病者の救命に大きく寄与するとともに、地域住民の模範となるものです。



消防協力者として感謝状が贈られた3人

9月10日 【市長室】

ふるさとへの思いを“はまゆり”にこめて 新市庁舎に絵画寄贈

釜石応援ふるさと大使で画家の石森寛さんが、新市庁舎完成を祝い、市の花「はまゆり」を描いた絵画「はまゆりが咲く頃」を贈りました。首都圏在住の釜石市出身者やゆかりの人たちでつくる釜石はまゆり会の会長でもある石森さんは、記憶に残る釜石の海とはまゆりをイメージして5カ月をかけて絵画を完成させました。寄贈された絵画は、市長室の入り口に飾られ、来庁される人の目を楽しませています。



新市庁舎の完成を祝い贈られた絵画「はまゆりが咲く頃」

9月22日 【釜石駅前】

シープラザ釜石30周年記念イベント 活気あふれる「釜石駅前フェス」

釜石駅周辺整備事業の核施設としてオープンしたシープラザ釜石が30周年を迎え、記念イベント「釜石駅前フェス」が開催されました。釜石駅前のスペースを使い、飲食コーナーや特設ステージを設置。訪れた人たちは、買い物や秋の味覚、多彩なイベントを楽しみました。誘客と情報発信の基地であるシープラザ釜石は、釜石観光の玄関口にある施設として、まちの魅力発信、誘客促進に取り組んでいきます。



ラグビー芸人しんやさんと桜庭吉彦さんのラグビー教室

釜石バウンドテニス協会

種目・分野 バウンドテニス

サークル別
活動日時
活動場所

- ◆レインボー 毎週火曜日 10時～12時
- ◆水曜会 毎週水曜日 10時～12時
- ◆ザ・ワールド 毎週木曜日 19時～21時
- ◆ドリーム 毎週土曜日 19時～21時

※練習場：釜石市民交流センター体育館（嬉石町）

◇はまゆり杯釜石バウンドテニス大会

開催日：10月18日(日) 会場：釜石市民体育館 ※自由に見学ができます

会 費 各サークル 月1,000円

昨年度、当協会は設立40周年を迎えました。健康づくりや仲間づくりを目的とした生涯スポーツとして楽しむ人から、全国選手権大会出場を目指して日々練習に励む人まで、活動の目的は様々ですが、幅広い年代の皆さんが楽しく活動しています。初心者の人也大歓迎！私たちと一緒に活動する仲間を募集しています。

問い合わせ 釜石市体育協会 ☎23-1061（平日9時～17時）



～STOP!子宮頸がん
私の未来は私が守る!!～

保健案内板

小学校6年生から高校1年生は、HPVワクチン定期接種の対象です

子宮頸がんは、ワクチンを接種することで、多くのHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染を防ぐことができます。接種を受けた女性は、子宮頸がんのリスクが大幅に低下しています。HPVワクチン接種は、未来の健康を守るための大切な予防策の一つです。

対象者 小学校6年生から高校1年生に相当する年齢の女子

接種費用 無料（定期接種対象期間中に限る）

使用ワクチン HPVワクチン（9価）

接種回数／標準的な接種間隔

6年生から14歳：2回／初回接種の6か月後に追加接種

15歳以上：3回／初回接種の2か月後と6か月後にそれぞれ追加接種

※詳細については、厚生労働省ホームページをご覧ください

接種場所や予約方法については、市ホームページや市健康保険課にご確認ください



市ホームページ



厚生労働省
ホームページ

問い合わせ 市健康保険課 健康推進係 ☎52-0097



「海と希望の学園祭 in Kamaishi」で 本まちイベントを行います

図書館の「夏休み読書チャレンジ！」で小学生以下30冊、中学生以上10冊以上読書し、応募いただいた人の中から多読賞表彰を実施します。

本年の「海と希望の学園祭」のテーマは「アート」です。当日は、多読賞表彰のほか、日高寺の菊池鍊城住職によるライブペイントやかまいしこども園の園児によるこども虎舞の披露を予定しています。また、「虎」に関する本の展示も行います。ぜひご来場ください。

日時 11月7日(土) 13時～

場所 釜石市民ホールTETTO ホールB



問い合わせ 市まちづくり課 ☎52-0070

こんにちは！
小野です。



釜石市「海の日」絵画コンクールの表彰式を開催しました。釜石市では7月の「海の日」にちなみ、海事功労者表彰や優良漁船表彰など、さまざまなイベントを開催しています。「絵画コンクール」もその一環で実施しているもので、市内のこども園、幼稚園、保育園から140点の応募がありました。どの作品にも、子供たちにとって楽しかった夏の思い出が見事に表現されていました。子供たちにとって、ふるさと釜石での思い出が将来「かけがえのないもの」になればいいなと思いながら、作品を眺めました。



まもなく本年度のがん検診が終了します

まだ本年度のがん検診を受けていない人は、この機会に受検しましょう。市ホームページ

検診項目	最終日	受付時間	対象	料金	会場
乳がん検診	10月24日 (土)	9時30分～11時、 13時～14時	40歳以上の女性	49歳以下… 3,000円 50歳以上… 2,500円	釜石市民 体育館
子宮頸がん 検診			20歳以上の女性	2,000円	
骨粗しょう症 検診			40.45.50.55.60 歳の女性（骨粗しょう 症の既往がない人）	1,000円	
胃がん検診	11月7日 (土)	6時30分～9時	40歳以上の男女	2,500円	市保健福祉 センター 1階
肺がん検診	11月8日 (日)	9時30分～11時30分、 13時30分～14時30分	40歳以上の男女	1,000円	シープラザ 釜石
大腸がん検診		9時～11時30分、 13時～14時30分	40歳以上の男女	1,000円	

※対象年齢は令和9年3月31日時点の年齢です ※11月8日(日)は、健康診査も最終日です

各種がん検診
追加申込受付中

受検票がない人は、1週間前までに市健康保険課へ
電話または二次元コードから申し込みください。

※骨粗しょう症検診は電話予約のみ



追加申し込み

問い合わせ 市健康保険課 健康推進係 ☎52-0097



慶弔

9月1日～31日届け出分

すこやかに ()は保護者名・敬称略
八雲町 NGUYEN NHU Ýちゃん (NGUYEN VIET HOANG)
大字平田 遠藤 楓ちゃん (拓海)
遠藤 樹ちゃん (拓海)
天神町 柏木 美伶ちゃん (晃)
鵜住居町 港川 瑛善ちゃん (日々輝)
甲子町 佐藤 風祐ちゃん (史弥)
桜木町 高橋 陽生ちゃん (昂大)

おしあわせに ()は旧姓

桜木町
山口 鴻さん・明美さん (小野)
唐丹町
藤原 和貴さん・瑠華さん (伊藤)

やすらかに ()は満年齢

大平町 鈴木 タミ子さん (97)
堀岡 サイ子さん (90)
甲子町 佐々木 興悦さん (91)
小松 静子さん (79)
千葉 望さん (47)
畠山 正さん (86)
熊谷 徳子さん (85)
白館 アイ子さん (93)
高橋 キサ子さん (81)
上中島町 瀬田 政廣さん (95)
大字平田 蘭賀 健剛さん (74)
佐々木 嘉信さん (68)
千葉 重三さん (89)
松下 かよさん (97)
猪又 アヤ子さん (77)
八雲町 伊藤 喜代美さん (75)
野田町 高橋 令子さん (85)
大只越町 山田 芙美子さん (88)
佐々木 勲さん (46)
小川町 千葉 博さん (84)
菊池 榮さん (93)
會田 博子さん (78)
礼ヶ口町 小澤 重義さん (91)
鵜住居町 柏崎 雅夫さん (79)
土橋 郁子さん (81)
浜町 岩間 洋子さん (91)
箱崎町 佐々木 照人さん (78)
唐丹町 小澤 隆二さん (87)
柏 貞子さん (85)
定内町 佐々木 光一さん (74)
栗林町 遠野 キエさん (94)
中妻町 吉田 桂子さん (93)

※お名前の一部を常用漢字に変換している場合があります

釜石市の人口と世帯（9月）		
男	13,238人	（+3人）
女	14,407人	（－6人）
合 計	27,645人	（－3人）
世 帯	15,122世帯	（+31世帯）

※（ ）は前月比

布団の丸洗いサービスを実施します

実施期間 預かり日 11月12日(休)
お届け日 11月19日(休)

対象 おおむね65歳以上の寝たきりの人や重度の身体障がい者などで、寝具の衛生管理が難しい人
内容 ①かけ布団、敷き布団、毛布の3点：700円 ②寝台用マットレス(スプリングマット不可)、ベッドパット、かけ布団、毛布の4点：900円
※生活保護世帯は無料です
※希望者には代替寝具を貸し出します
申込期限 10月30日(金)
申し込み・問 市総合福祉課 ☎52-0089

第17回かまいし仙人峠マラソン大会開催に伴う交通規制

区間 甲子町大松(五葉橋付近)から仙人峠トンネルまでの国道283号線及び市道大橋1号線
期間 10月25日(日) 9時30分～12時30分
問 かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会 釜石市体育協会 ☎23-1061、市文化スポーツ課 ☎52-0079

日本赤十字社 活動資金募集にご協力をお願いします

日本赤十字社は、災害の救護活動をはじめ、さまざまな活動を行っており、これらの活動は皆さんからの寄付金で支えられています。市では、活動資金募集へのご協力をお願いするため、行政連絡員が各家庭や事業所を訪問します。なお、行政連絡員が不在の地域へは、日本赤十字社活動資金に関するリーフレットを広報誌に折り込んでいますので、併せて確認ください。皆さんの温かいご支援とご協力をお願いいたします。
問 市地域包括ケア推進課 ☎52-0101

コミュニティ助成事業(宝くじの助成金)で備品を整備しました

(一財)自治総合センターは、社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源にコミュニティ活動に対する助成を行っています。本年度採択を受けた住吉町町内会では、コミュニティ活動で使用するエアコンを整備しました。
問 市総合政策課 ☎52-0061

お知らせ

「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーション研修

日時 11月10日(火)10時～15時
会場 釜石情報交流センター 釜石PIT 多目的集会所
内容 ①演題「価値の再確認」講師 産業遺産情報センター総括管理責任者 西川 三津子 氏 ②演題「明治日本の産業革命遺産」の概況等について 講師 産業遺産情報センター長 加藤康子 氏
対象 一般30人
申込期限 10月30日(金)
申し込み・問 市世界遺産室 ☎52-0111 FAX 27-7568 ✉hashino@city.kamaishi.iwate.jp

白山小学校閉校記念誌

令和9年3月に閉校する白山小学校の閉校記念誌(カラー印刷、約100ページ)を作成するに当たり、発行部数を決めるため、市内在住の卒業生や関係する皆さんの事前申し込みを受け付けています。
申込期限 10月30日(金)
申し込み・問 白山小学校 ☎22-3834

第10回えんむすびマルシェ

ハンドメイド商品やグルメなど、露店とキッチンカーが釜石大観音仲見世に出店!気になる商品がきっとあります。
日時 11月3日(火・祝) 9時30分～14時30分
問 釜石大観音仲見世リノベーションプロジェクト 担当 宮崎 ☎090-4857-5693

【使用者募集】大平墓園墓地

区画数 20区画(普通墓地のみ)
区画使用料 45万円(4㎡)
年間管理料 2,480円
応募資格 市内に住民登録または本籍がある人
※現在、大平墓園に墓地を所有している世帯は応募できません
申込期間 10月15日(木)～11月16日(月)
申込書 市生活環境課、各地区生活応援センターで配布する他、市のホームページからもダウンロードできます。
決定方法 抽選で決定
抽選会日時 11月27日(金)14時(受付は13時から)、場所 市役所4階 大会議室
申し込み・問 市生活環境課 ☎52-0081

デジタル人材育成講座「DX・デジタルマーケティング実践講座」

実施日 11月9日(月)、11月24日(火)、12月7日(月)、12月14日(月)、12月21日(月)
※全日程への参加を原則とします
時間 10時～15時(1時間の休憩を挟みます)
場所 釜石高等職業訓練校
対象 市内企業への就職を目指す人、市内企業に在職している人
定員 15人(定員に達し次第、申し込みを締め切ります)
費用 無料
締切 11月2日(月)

申込方法 二次元コードから申し込みください。
※詳細は、市ホームページをご覧ください
問 職業訓練法人釜石職業訓練協会 ☎26-7000



相談

ひとり親家庭等のための無料法律相談

離婚や親権、養育費などについて弁護士による相談を行います。
日時 11月5日(休) 10時～15時(要予約)
場所 釜石地区合同庁舎沿岸広域振興局2階 相談室1
対象 ひとり親家庭の人(母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦)など
申し込み・問 県沿岸広域振興局保健福祉環境部 ☎25-2713 (-社)岩手県母子寡婦福祉連合会 ☎019-623-8539

●休日納税相談

期日 10月25日(日)
時間 9時～15時
問 市税務課 ☎52-0065

●夜間納税相談

期日 10月29日(木)、30日(金)
時間 17時15分～19時15分
問 市税務課 ☎52-0065

●今月の納税

【市県民税 3期】
【国民健康保険税 4期】
納期限 11月2日(月)

募集

【テナント募集】釜石物産センター「シープラザ釜石」

業種 観光や物産販売関連業種
募集エリア 1階西側空きテナント、2階西側空きフロア
申込期限 10月30日(金)17時
募集エリアやテナント使用料などの詳細は問い合わせください
問 市商工観光課 ☎52-0083

各種相談

内 容	予 約	日 時	場 所	申し込み・問い合わせ
岩 手 弁 護 士 会 無 料 法 律 相 談	要	11月11日(火) 10時～15時	市消費生活センター	市消費生活センター ☎22-2701
人 権 相 談	要	11月6日(金) 13時～16時		
公 証 相 談	要 ※前日に予約がなければ中止	11月5日(木) 10時～12時		
年 金 相 談	要	11月19日(木) 10時～15時30分 ※要：基礎年金番号がわかるもの	青葉ビル	宮古年金事務所 ☎0193-62-1963

市民百景

第 35 回

みんなが寄れる場所を、このまちに。

家族と仲間で作る居場所づくり

NEVERLAND VILLAGE 高橋 一美さん (50)



「飲食店をやりたいかったわけではないんです」と話すのは、鶴住居トモスで飲食店を運営する高橋一美さん。震災後、気軽に集まれる場所が減った地域で「誰でも寄れる居場所がほしい」という仲間との思いを出発点に本年3月12日にオープンしました。

店作りでは窓が多く外の様子が見える現在の施設を活かし「おしゃべりできる場所」を重視。植物は置いたびに「ここにも欲しい」と増え、明るく開放的な空間が少しずつ形づくられていきました。店内には誰でも使えるフリースペースも設け、勉強や在宅勤務などにも気軽に利用できます。

メニューは当初コーヒーだけの予定でしたが、家族や仲間の提案で軽食から食事、アルコールまで幅広く充実。スタッフの多くは飲食業未経験ながら「まずやってみる」の姿勢で一つずつ覚えてきたと言います。そんな思いのこもった店には、子どもや親世代、地域の高齢者、帰省した若者が再会するなど「地域の居場所」になっています。

大学生の長男・櫻最^{おうせい}さんも夏休みにスタッフとして参加し「家の延長のような場所で友達も誘いやすい」と笑顔を見せます。

「帰ってきたら、あそこで会おう」と言える場所があれば、若い世代が地元に戻るきっかけにもなる。みんなが寄れる場所を無理なく続けていきたい。仲間や家族とともに育ててきたこの店は、これからも地域に新しいつながりを生み出し続けます。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？
市オープンシティ・プロモーション室（☎ 52-0068）または市のホームページからご連絡ください



はる 水谷 暖月ちゃん (5歳)
かの 奏乃ちゃん (2歳)

いつも元気いっぱい！
これからますます大きくなってね！



ほか 佐々木 帆華ちゃん (2歳)
たくさん遊んで、食べて、
元気に成長してね！
帆華の笑顔に癒されています！



釜石市 LINE 【公式】



釜石市 X 【公式】



釜石市 Instagram 【公式】

